

3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ



ご案内

豊田市は愛知県のほぼ中央に位置し、全国有数の製造品出荷額を誇る「クルマのまち」としての顔を持つ一方、市域の約7割を占める森林や矢作川流域の田園が広がる恵み多き緑のまちでもあります。

本市には、約3万年前から人が住み始めた土地としての長い歴史もあり、また、豊かな自然環境や文化的背景、文物等は、私たちの営みを支えてくれるだけではなく、アイデンティティを育み、未来を拓くヒントやエネルギーをも与えてくれます。

それらを多くの人と共有し、理解し合い、ともに心の糧とする機会や場となるため、本市では、美術館と博物館、そして矢作川のほとりに建つ民芸館の3館が、各館の個性を大切にしながらもミュージアムとしての機能を携えた文化拠点施設として連携し、今後様々な活動を展開していきます。

豊田市美術館

1995 年開館。「美術館とは、建築の外部から内部にまで、作品と出会う感動を求めて辿る旅のための装置である」という建築家・谷口吉生氏の思いが随所に現れた美術館。

作品と空間との関係、そして鑑賞者の芸術体験をなにより考慮して展示や教育普及活動等を行っています。



豊田市博物館

2024 年開館。可能な限り再生可能な材料やエネルギーを利用した21世紀を象徴する建物として坂茂氏により設計。

「みんなでつくりつづける博物館」として、“えんにち”のようなにぎわいを生む交流施設としての側面を持ち合わせています。



豊田市民芸館

1983 年開館。建物の一部は、東京・駒場の日本民藝館改築の際に移設されたもので、愛知県内唯一の公立民芸館。

民藝コレクションの他、平安時代中頃の猿投古窯復元穴窯や円空仏等もあり、四季折々楽しめる庭園も見どころです。



3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ



豊田市美術館

2025 年度、開館 30 周年を迎える豊田市美術館では下記の展覧会を開催する予定です。夏休みには大人から子どもまで幅広い世代に人気のある印象派巨匠の展覧会、秋には戦後美術をジェンダー視線で読み直す展覧会、年明けには、近年、評価が高まりつつある洋画家の展覧会の開催を予定しています。

2025年度
展覧会(予定)

モネ 睡蓮のとき

2025 年 6 月 21 日[土]ー9 月 15 日[月・祝]

主催：豊田市美術館、マルモッタン・モネ美術館、中京テレビ放送



マルモッタン・モネ美術館のコレクション約 50 点に、国内の所蔵作品を加えて開催するクロード・モネ(1840ー1926 年)の回顧展です。日本初公開の作品を含み、晩年の制作を中心として、モネが情熱を注いで造った「水の庭」を描いた最初期の作品群、そして大画面の〈睡蓮〉などを紹介し、印象主義を超えたモネの芸術の豊かな展開を辿ります。

クロード・モネ《睡蓮》1916-1919 年頃 油彩／カンヴァス マルモッタン・モネ美術館、パリ © musée Marmottan Monet

(仮)アンチ・アクション

2025 年 10 月 4 日 [土] - 11 月 30 日 [日] (予定) 主催：豊田市美術館

2025年度
展覧会(予定)



1950 年代から 60 年代にかけて、日本では女性作家が前衛美術の領域で大きな注目を集めました。しかし、「アクション」の概念が導入され、男性批評家による男性作家の評価に適用されるようになると、女性作家たちは批評の対象外とされる傾向が強まりました。本展では、こうした女性たちのアクションへの対抗意識を「アンチ・アクション」として見直し、当時の美術の別の姿を描き出します。

田中敦子《Work 1963 B》1963 年 豊田市美術館蔵

3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ



豊田市美術館

2025年度
展覧会(予定)

(仮)高島野十郎展

2026 年 1 月 6 日[火]-3 月 15 日[日] 主催: 豊田市美術館、毎日新聞社(予定)



高島野十郎《からすうり》1935 年、福岡県立美術館蔵

日本美術史で特異な位置にあり、この 30 年ほどで全国的に知られるようになった洋画家・高島野十郎(1890-1975 年)。「蠟燭」「月」などの特異な主題を独特の写実的な筆致で描いた作品は、観る者の心を静かに震わせ魅了する力を宿しています。

旧制八高出身で、東海地区で初開催の個展となる本展は、過去最大規模の回顧展です。自らの理想と信念にひたすら忠実であり続け、「孤高の画家」と呼ばれた高島野十郎の芸術観を紐解きます。

2025年度
展覧会(予定)

開館 30 周年コレクション展

第1期 2025 年 6 月 21 日[土]-9 月 15 日[月・祝]

第2期 2025 年 10 月 4 日[土]-12 月 21 日[日]

第3期 2026 年 1 月 6 日[土]-3 月 15 日[日]



グスタフ・クリムト《オイゲニア・プリマフェージュの肖像》

1995 年に開館した豊田市美術館は、2025 年に 30 周年を迎えます。長きにわたる活動を振り返りつつ、決して一つに収斂することのない美術の多様な有り様を見つめなおすきっかけとなり、また未来への眼差しを提示できるよう、いくつかのテーマを設定し、コレクション展を 3 期連続して開催します。

また、コレクションに関連した様々な教育事業やこどもを対象としたイベント等を開催します。

3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ



豊田市博物館

2025年度、豊田市博物館では下記の展覧会を開催する予定です。開館1年となる春、豊田市にゆかりのある明治の傑人・岸田吟香と、その息子劉生に関する展覧会に始まります。夏にはエジプト考古学に関する大規模な展覧会、宇宙に関する最新の技術を紹介する展覧会、そして、天文学にも関心の高かった伊能忠敬の偉大な業績を紹介する冬の展覧会へと続きます。古代から最新の科学技術まで、幅広いラインナップとなっています。

開館1周年記念 岸田吟香没後 120 年

2025年度
展覧会

岸田吟香と岸田劉生—近代、それは東洋にあり—

2025年4月26日 [土] —2025年6月15日 [日] 主催：豊田市博物館 共催：中日新聞社



吟香案詩之像 岸田劉生筆(個人蔵)

旧挙母藩士で、日本初の和英辞書や液体目薬を創出した事業家、そしてジャーナリストの先駆けであった岸田吟香。吟香の子で、「麗子像」などでおなじみの洋画家の岸田劉生。

吟香は、西洋の知識や技術を体現する一方、中国に渡り、最新の東洋文化を日本にもたらしました。劉生は、精緻な写生画を描く一方、中国の宋・元時代の絵画等から影響を受け、画風を展開させていきました。

本展では、吟香他近代日本の書と、吟香が影響を受けた趙之謙ら清朝の書作品を取り上げるとともに、劉生の画風の変遷から、西洋化とは別の「日本の近代化」の姿を紹介します。

特別展 ブルックリン博物館所蔵 古代エジプト

2025年6月28日 [土] —2025年9月7日 [日] 主催：豊田市博物館

：中京テレビ放送、朝日新聞社



王の頭部 前 2650～前 2600 年頃

現代人の想像をはるかに超える高度な文化を創出した古代エジプト。考古学者や歴史学者のみならず、多くの人々がこの最古の文明に興味を抱き続けていますが、その全貌は未だ解明されていません。

本展は、米国ニューヨークにあるブルックリン博物館所蔵の貴重なエジプトコレクションを軸にしながら、今まであまり触れられてこなかった古代エジプト人の暮らしや考え方に着目。彼らの「常識」や「真実」を、現代の私たちにとっての“謎”として展観していきます。TV等でおなじみの名古屋大学で博士号を取得したエジプト考古学者 河江肖剰氏の取組も紹介します。

3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ



豊田市博物館

2025 年度
展覧会

深宇宙展～人類はどこへ向かうのか

2025 年 10 月 18 日[土]- 2026 年 1 月 18 日[日]

主催：豊田市博物館、NHK、NHK プロモーション、中日新聞社

近年、新たな発見や技術により目覚ましい成果が上がっている宇宙開発。アルテミス計画をはじめとした月面開発、小惑星探査、果ては火星での生活や宇宙旅行まで、最新技術や知見をテレビ番組と連動し、分かりやすく紹介します。トヨタ自動車が開発に関わる月面探査車ルナクルーザーなど、天文ファン以外も楽しめる展覧会です。



豊田市合併 20 周年記念

（仮）伊能忠敬の時代—新しい地図・その時代のとよた—

2026 年 1 月 31 日 [土] – 3 月 29 日 [日]

主催：豊田市博物館



測量調査で日本中を踏破し、「大日本沿海輿地全図」（伊能図）の作製に尽力した伊能忠敬。測量のため、彼は市域にも滞在していました。

本展では、伊能図や、使用した測量道具の数々、自筆の記録類などの国宝をとおして、彼の偉業と活動を紹介します。

また、伊能自筆の「測量日記」などから、市域での活動も紹介します。

加えて、安土桃山期の「日本地図屏風」や、江戸時代の日本を描いた古絵図から、当時の人々の世界観・空間認識の様子を紹介するとともに、合併から 20 年となる市域を描いた古絵図の数々を展示します。

国宝 伊能忠敬像 部分（伊能忠敬記念館蔵）江戸時代

3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ

豊田市民芸館
Toyota City Folk Craft Museum

豊田市民芸館

2025 年度、豊田市民芸館では下記の展覧会を開催する予定です。

クルマの街＝ものづくり産業の都市にある民芸館として、日本や世界の優れた手仕事に新たな光をあてる展覧会を開催。日常の暮らしに宿る美しさを追求する民芸の価値や魅力を発信していきます。

2025年度
展覧会

おいしい民窯－食のうつわ

2025 年 1 月 11 日(火) - 5 月 25 日(日)

主催：豊田市民芸館



〈瀬戸本業窯のやきもの〉

「民窯(みんよう)」とは、人々が日々の生活のなかで使う器や道具などを焼く窯、またはそのやきもの自体を指します。民窯という言葉は「民藝」という言葉とともに昭和初期から広く使われるようになりました。今回の展示では、愛知県の瀬戸焼や常滑焼はもちろん、北は岩手県の久慈焼、南は沖縄県の壺屋焼まで、職人の手仕事による食にまつわるやきもの約 200 点を紹介します。また本展は豊田市博物館で開催中の特別展「和食－日本の自然、人々の知恵－」との連携企画として開催します。

(仮)世界の染織 －藤本均コレクション

2025 年 6 月 28 日(土) - 9 月 21 日(日)

主催：豊田市民芸館



〈夾纈仏壇覆い布 チベット〉

故・藤本均(島根県出身)は、染織品を愛した著名な蒐集家です。1968 年に大阪で「三彩工芸」工芸部門を立ち上げ、工芸品の販売や作家の展示会、工芸関係の書籍制作・販売業を営む傍ら、自身で世界を回り、特に染織品に力を入れて蒐集しました。そのコレクションは国内外問わず量・質ともに豊かで、日本民藝館(東京・駒場)でも展覧会を開催しています。本展ではこの藤本コレクションより、世界の絣(かすり)・絞り・夾纈(きょうけち)・更紗(さらさ)の染織品を中心に紹介します。

3 Museums Information - Toyota City -

豊田市美術館／豊田市博物館／豊田市民芸館 からのお知らせ

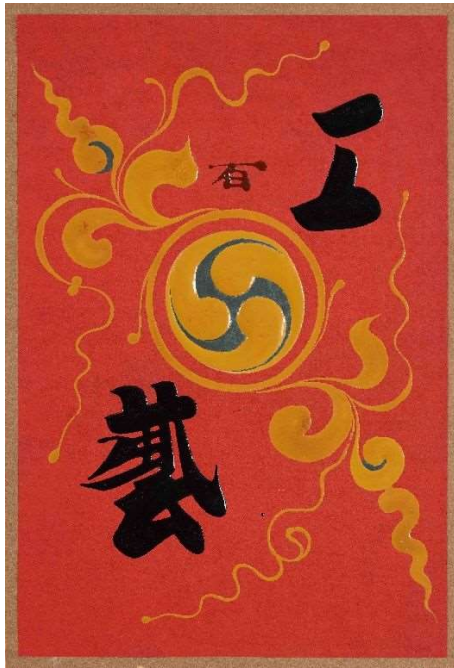
豊田市民芸館

豊田市民芸館
Toyota City Folk Craft Museum

2025 年度
展覧会

鈴木繁男 手と眼の創作

2025 年 10 月 11 日(土) - 2026 年 1 月 12 日(月) 主催: 豊田市民芸館



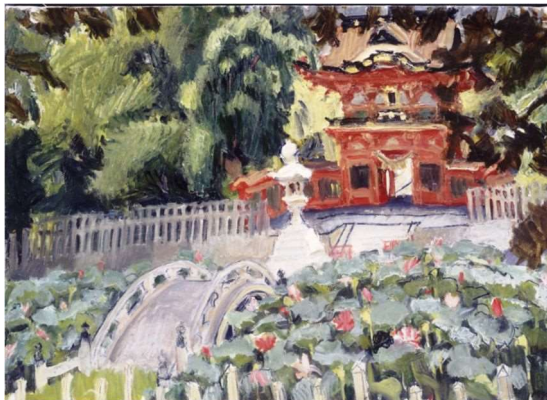
〈『工藝』第 100 号 鈴木繁男装幀 1939 年 日本民藝館蔵〉

柳宗悦の唯一の内弟子である鈴木繁男（1914—2003）は、柳にその非凡な才能を認められて 1935 年に入門し、工芸や直観について厳しく教育されました。鈴木による仕事は漆絵、陶磁器、装幀など多岐にわたりますが、特筆すべきは雑誌『工藝』の装幀でしょう。一つひとつ和紙に漆で描かれた表紙は、多くの民藝の関係者や読者を驚かせました。

本展は日本民藝館（東京・駒場）で開催された「鈴木繁男展—手と眼の創作」の巡回展として開催します。これまで認知されることの少なかった工芸家・鈴木繁男の多彩な仕事とその蒐集品を紹介します。

ふたつの特集展示「本多静雄と杉本健吉」 「館蔵品による 芹沢銈介」

2026 年 2 月 中旬 - 5 月 下旬 主催: 豊田市民芸館



杉本健吉《社頭蓮池》 1979 年 油彩 90.9×65.2 cm
豊田市蔵

豊田市名誉市民で実業家、日本有数の古陶磁研究家として知られる本多静雄（1898-1999）と名古屋市出身の画家・杉本健吉（1905-2004）。本展では、杉本氏の絵画をはじめ、杉本が手掛けた本多氏のお茶会や創作狂言に係る作品など、二人の深い交流と文化活動に焦点をあてた展示をおこないます。

また同時開催として、日本を代表する染色家・芹沢銈介（1895-1984）の作品を、当館所蔵品によって特集展示します。

お問い合わせ先

豊田市美術館

〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町8丁目5番地1 代表電話 Tel 0565-34-6610

HP : <https://www.museum.toyota.aichi.jp> e-mail: bijutsukan1@city.toyota.aichi.jp

- ・ 展覧会に関すること（学芸担当） Tel 0565-34-3131
- ・ 施設の利用、掲載依頼、取材等に関すること（庶務担当） Tel 0565-34-6748

豊田市博物館

〒471-0034 愛知県豊田市小坂本町5丁目80番地 問合せ Tel 0565-85-0900

HP : <https://hakubutsukan.city.toyota.aichi.jp/>

豊田市民芸館

〒470-0331 愛知県豊田市平戸橋町波岩86-100 問合せ Tel 0565-45-4039

HP: <https://www.mingeikan.toyota.aichi.jp/>